

和歌山縣報

第四百四號

大正五年十月三日
火曜 日

○ 告 示

○和歌山縣告示第二九五號

左記ノ通特別漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

大正五年十月三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

免許	免許	免許番號	漁業種額	及名稱	漁場ノ位置	漁獲物種類	漁業時期	漁業權條件又續存期間ハ制限	漁業權者代表者
----	----	------	------	-----	-------	-------	------	---------------	---------

大正五年八月十一日	一三九四	第七種漁業	和歌山縣東牟婁郡田原村大字下田原地先業	自十月一日至一月卅一日	五ヶ年	東牟婁郡田原村下田原漁業組合
-----------	------	-------	---------------------	-------------	-----	----------------

○和歌山縣告示第二九六號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

大正五年十月三日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

左記自轉車鑑札紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効ス
大正五年十月三日

鑑札番號 紛失年月日 住 所 氏 名

日第四二二號 大正五年九月二日 日高郡湯川村大字財部 小路重太郎
日第六一二號 大正五年八月廿六日 日高郡岩代村大字西岩代 今井篤一郎

○ 會 評

○九月三十日

會計吏員 堀 享 三
顯ニ依リ職務ヲ免ス

堀 享 三
御用濟解雇

堀 享 三
縣工業試驗場書記ニ任ス

堀 享 三
月俸拾七圓ヲ給ス

堀 享 三
給三級俸

堀 享 三
依願免本官

堀 享 三
任東牟婁郡視學
給六級俸

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

給四級俸 那賀郡視學 山本龍三

給五級俸 伊都郡視學 水田敏太郎

顯ニ依リ縣立和歌山高等女學校教授囑託ヲ解ク 土井雪江

月俸參拾貳圓ヲ給ス 縣立和歌山高等女學校 高山やゑ

顯ニ依リ師範學校教授囑託ヲ解ク 陸軍歩兵中尉 辻久雄

月俸八圓ヲ給ス 縣農業助手ヲ命ス 辻本助三郎

師範學校教諭心得ヲ命ス 正七位 六等功六級 鈴木國太郎

月俸參拾圓ヲ給ス

○十月二日

縣廳ヲ命ス

月俸拾壹圓ヲ給ス

内務部土木課勤務ヲ命ス

和田三十郎

○町村吏員ノ異動

○大正五年九月二十八日認可

海草郡大野村長

海草郡山口村助役

○大正五年九月三十日認可

東牟婁郡太地村長

出口仁之助

飯田慶次郎

村上準

○彙報

○官廳事項

○白國政府ノ陳謝 白耳義國民救済ノ慈善事業ニ關係ノ向ヘ同國政府ノ謝意傳達方外務大臣ヨリ左記ノ通申越サレタル旨内務大臣秘書官ヨリ本縣知事ニ來歴アリタリ

大正五年九月十五日

外務大臣子爵

石井菊次郎

内務大臣法學博士 一木喜徳郎殿

白國民救済ノ慈善事業ニ關係ノ向ヘ同國

政府ノ謝意傳達ノ件

昨冬來白國民救済ノ爲メ本邦ニ於テ解サシタル慈善事業ニ關係シタル向ヘ同國政府ノ謝意傳達方ニ關シ別紙譯文ノ通在本邦同國公使ヨリ申越候條委續右ニ就キ御承知相慮度此段申進候也

(別紙譯文)

譯文

千九百十六年八月廿一日東京ニ於テ

白國公使伯爵

ドラ、フアイ

第 二二 號

五六六

外務大臣子爵 石井菊次郎閣下

以書翰致啓上候陳者舊冬日本ニ於テ歐洲戰争ノ悲慘ナル災厄ヲ被リタル白耳義國民ノ爲ニ各種ノ慈善事業計畫セラレ其都度内閣員宮中高官多數ノ各階級官吏貴顯紳士等之ニ同情ヲ注ガレ熱心ニ發起者ニ相呼應セラレタルハ閣下御承知ノ通ニ有之候處本使ハ此同情ノ表彰ニ付不取敢左ノ如ク本國政府ヘ報告致置候本使ハ衷心ヨリ同情ヲ寄セラレ且出來得ル限リ一切ノ援助ヲ與ヘラレタル日本國諸官憲各新聞雜誌社及協會等ニ對シ謝ア感謝ノ意ヲ表セザルヲ得ス本使カ外務大臣閣下ニ對シ幾多ノ慈善事業ヲ其庇護ノ下ニ置カレンコトヲ懇請セシニ其都度同大臣ハ欣然之ヲ承諾セラレタリ

白耳義國民救済基金募集ノ時ニ當リ帝國大學高等學校其他約百個ノ學校内ニ寄附金ヲ受タヘキ箱ヲ備附タルコトヲ得タルハ偏ニ文部大臣閣下ノ快諾ト協力トニ因ルモノナリ又白耳義國民ノ爲ニ慈善事業開催ノ際海軍大臣閣下ニ對シ日本ニ於テ最著名ナルモノ、一ナル海軍軍樂隊ノ演奏ヲ請ヒシニ毎回快諾ヲ得タリ去ル五月開催セシ慈善販賣ノ際ニハ内閣總理大臣大隈侯爵閣下自ラ夫人同伴各店ヲ參觀セララレ多數ノ物品ヲ購買セラレ外務大臣閣下令夫人數名ノ國務大臣令夫人及宮中高官數名來觀セラレ其内ニ式部長官戸田伯爵閣下同令夫人モ見受メタリ

白耳義國民救済基金ノ爲ニ催サレタル各種ノ演劇開演ノ際等ニハ

内閣員宮中ノ高官等數名觀劇セラレタリ各皇族殿下並妃殿下亦五月廿六日ニ觀劇アラセラルタルハ當時ノ報告中ニ記載セルカ如シ

本使ノ報告ハ辱クモ我皇陛下下ノ數覽ニ供セラレ前記同情ノ義彰ニ賛加セラレタル貴國內閣員及宮中ノ高官其他ノ人士ニ對シ本國政府ノ深甚ナル謝意ヲ傳達致スヘキ標本國外務大臣ヨリノ訓令ニ接シ候

右ノ總閣下ヨリ諸國務大臣其ノ他ノ各員特ニ前ニ述ヘタル諸氏並戸田式部長官閣下ヘモ可然御移牒相成度此段及御依頼候右申進旁本使ヘ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

○轉任 師範學校教諭村山省吾ハ九月二十八日樺太廳中學校教諭ニ轉任セシ

○ 衛 生

○自九月十一日至九月二十日「トラホーム」治療患者旬報

種 別	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者名	名	三一五	三一二	三一五	三一五	三一五	一	三〇六	三一三	三一五	二、八二一
其他患者	名	六九	二六八	一三	二四九	三〇六	三二六	二七二	二七九	二九二	二、四六三
計	名	三八四	五八〇	四二八	五六四	六二一	六四一	二七二	五八五	六〇五	五、二八四

○衛第一〇七七一號

香港ニ於ケル本週(自八月廿七日至八月二日)中、傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務屬託領事高橋新治ヨリ本月六日附ヲ以テ左ノ通報告アリタリ(大正五年九月廿六日內務省衛生局)

區 別	虎列刺	馬チ	チアラ	赤痢	ベスト	痘瘡	猩紅熱	賈利亞	登瘡	計
新 患 者	一	六	一	一	一	一	一	一	一	八
死 者	一	五	一	一	一	一	一	一	一	七
現 在 者	一	一三	一	一	一	一	一	一	一	一三

一月以來（患者）	九	一五六	一	三三二	二七九	一	一三三	一	五三〇
患者（死者）	九	八六	一	三三二	二一九	一	三〇	一	三七六

備考

一、本週ノ傳染病新患者中發生區域ハ市内ニテ腸チフス三、天然痘一、市外ニテ虎列刺一、腸チフス三ノ發生ヲ見タリ
二、鼠族ノ検査成績表（香港及九龍）

期	間	検査鼠數	有齒鼠數	發生ペスト患者數
自七月三十日	至八月五日	一九三六	〇	一
自八月六日	至八月十二日	一九七〇	三	一
自八月十三日	至八月十九日	二〇三四	二	〇
自八月二十日	至八月廿六日	二〇四五	〇	〇
自八月廿七日	至九月三日	二二〇四	二	〇

一、各傳染病概況

ペスト當地ニ於ケル「ペスト」ハ例年八月ヲ以テ殆ンド終熄スル次第ナルカ本年モ八月十二日以來既ニ發生ヲ見ズ又本年一
八以來ノ累計ハ僅カ三十二名ニシテ過去五年中最モ最少ナキ數ヲ示シ昨年同期間ノ百三十名（昨年ノ二千二百三十五名ニ比
シ著シキ減少ナリト云フベシ）

コレラ當地ニ於ケル虎列刺患者ハ毎年其多ハ他ヨリ輸入セラレ當地ニ於テ發生スル稀ナル由ナルガ本年八月上旬當港ト密
接ノ關係アル澳門ニ於テ虎列刺病流行ノ結果七名ノ輸入患者アリシカ其後今日迄之ノ地ニテ發生セシモノ二名アリタルノ
ミニテ差當リ蔓延ノ兆候ヲ認メズ

其他天然痘ハ本年度相應ニ多數ノ患者發生セシモ漸ク減退シ七日以來每週僅カ二三名アルノミニナリ其他「チフス」ノ患者
扶斯等ノ諸患者數モ最近漸ク減退セリ、本年度ハ例年ニ比シ概シテ衛生狀態良好ナリシカ如シ

二、澳門ニ於ケル虎列刺發生數

期	間	發生數	死亡數
自八月七日	至八月十三日	一四	一四

自八月十四日 至八月二十日
自八月廿一日 至八月廿七日
自八月廿八日 至九月三日

○ 七 九

○ 七 七

○ 正 誤

大正五年九月二十九日發行縣報第四百三號登載選舉會第五三一二號本文申爲メニノ下「支出証明上不鈔手數ヲ來シ候付」十四字ヲ加フ

